

WRV NEWS LETTER

WILDLIFE RESCUE VETERINARIAN ASSOCIATION

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

No.74

2010.9.24 発行



野生動物救護獣医師協会は、保護された傷病野生鳥獣の救護活動を通じて市民の野生鳥獣保護思想の高揚をはかるとともに、地球環境保護思想の定着化を目指しています。そのために、常に世界の情勢を学び、会員相互の連絡、交流を行い、治療、研究および知識の普及をはかり、社会に貢献していくことを目的としています。

No.74 目次

ボランティア向け講習会報告	2
増井光子先生を偲んで	3
寄稿写真紹介	4-5
野生動物救護のあれこれ	6-8
ちょっと一息	9
研修会案内	10
書籍紹介・寄付のお礼とお願い・事務局日誌	11-12

ボランティア会員向け講習会報告

- 巣立ちヒナを見つけよう！！ちょっと変わったバードウォッチング -

WRV 理事 皆川 康雄

これまでWRVの歴史の中で、ボランティア会員限定で講習会を開くことはなかなかありませんでした。もちろん、“獣医師”協会の名ですから、獣医師（正会員）対象の講習会はあって当然ですが、ボランティア会員対象の講習会もあっていいのではないかと考えていました。

一方、ボランティア会員さんも会員にはなっているけど自分に何ができるかわからなくて…。救護活動に参加したいと思ってもなかなか機会がなくて…。そう思っている方もいるのではないのでしょうか。

このような中で、まずは気軽に参加できるイベント的な講習会をということで、題して「巣立ちヒナを見つけよう！！ちょっと変わったバードウォッチング」。

毎年、日本野鳥の会、日本鳥類保護連盟と共催で作成している「ヒナを拾わないで！」の啓発ポスター。巣立ち間もないヒナを見かけても拾わないでというのですが、野外で巣立ちヒナと出会うことはそう多くはありません。そこで、実際に巣立ちヒナを見ようということで企画しました。

6月27日。新宿御苑にて。下見もろくにせず、ぶっつけ本番で臨んだバードウォッチング。双眼鏡を片手にはたしてうまく巣立ちヒナと出会えるのかと思い、観察を開始した早々、スズメの巣立ちヒナが……。我々の目の前に現れたというか落ちてきたというか……。ころころとした独特の体形と淡い茶の体色に黄色のくちばし、そのあどけない姿に皆がくぎづけになりました。しばらくすると親鳥が飛んできました。気付いたヒナはすぐに低姿勢で羽を震わせてエサをねだります。その姿は本当にほほえましく、ヒナへの親の愛情、親子の絆を感じました。図鑑のように並んでくれたので巣立ちヒナと成鳥の違いを見比べることもできました。私たちの認識不足で、結果的に親子を引き離してしまう誤認保護はやはり慎むべきと改めて思った次第です。

他にもハシブトガラス、ハクセキレイ、シジュウカラ（声のみ）の巣立ちヒナを確認することができ、とても有意義な講習会となりました。参加された方々ありがとうございました。

今後もこうしたボランティア会員向けの講習会を開いていきたいと思いますので、どうぞご期待ください。



増井光子先生を偲んで

WRV 理事 馬場 國敏

既に皆様も御承知のことと思われませんが、獣医師の増井光子先生が 2010 年 7 月 13 日に英国内の国際馬術競技会中に落馬され、帰らぬ人となりました。先生と私は麻布大学馬術部の先輩後輩の関係でした。野生動物関係というよりも馬術でお会いする機会が多く、お会いすると「馬術の最中に死ねれば本望だ！」と話していたのですが、それが現実となり、我々馬術関係者は非常にショックを受けているところです。

増井先生は WRV 発足当時の関係で相談役的な役割をお願いし、常に WRV の行く末を案じておられました。これからいろんな相談をと思っていたところだけに残念です。WRV にとっても大きな痛手と大きな損失になりました。

去る 8 月 30 日にグランドアーク半蔵門で追悼式が行われましたが、増井先生らしく「感謝の集い」という題目になっておりました。時間も 3 時間と長時間にわたり、獣医関係者、自然愛護団体関係者、動物園関係者等、大勢の方が集い増井先生を偲んでいました。

我々 WRV も増井先生の遺志を少しでも受け継ぎたいものです。

『人と動物の共存、地球上のすべての生命に慈しみを』この言葉がいかに大切で、基本であるかということは、皆様の心でも同じように感じることでわかると思います。

これから先も、増井先生の心と一緒に活動していきたいと思います。

地球上の生物の為に！我々の為に！

.....

増井光子先生について

麻布獣医科大学（現・麻布大学）獣医学部卒。在学中、馬術部に所属。東京都恩賜上野動物園ではパンダの人工繁殖に成功されました。その後、多摩動物公園園長、上野動物園園長、よこはまズーラシア園長、兵庫県立コウノトリの郷公園の園長を務められました。

ここ最近では、WRV が認定した神奈川県野生動物リハビリテーターが、ズーラシアを始め横浜市立動物園内で救護活動を行えるようにご尽力して下さいました。

増井先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会
理事・事務局 一同

寄稿写真紹介

貴重な野生動物、野鳥の写真をご提供いただきました。その一部ですが紹介いたします。
自然な動物たちの姿が素敵です。





撮影者：長島 順子さん（WRV 会員）
撮影地：長野県上田市

WRV ホームページではカラーで見られます！ぜひそちらもご覧ください。
(WRV ホームページアドレス <http://www.wrvj.org/>)

記事紹介 ～野生動物救護のあれこれ～



WRV 正会員の金坂 裕先生（千葉市：バードクリニック金坂動物病院 院長）に野生動物を診療した時に感じた「あれこれ」をおうかがいしました。

1. 野生動物の寄生虫について

これまで当院に持ち込まれた野鳥のうち、内部寄生虫が感染している可能性が最も高いものはドバトでした。なかでも、保護されたドバトの7～8割くらいにハトリコモナスの感染が認められています。ハトリコモナスはイエバトが本来の宿主であるがほかにもキジバトを含む多くの鳥類にも寄生があると文献には記載があります。しかし当院ではこれまで保護されたキジバトにハトリコモナスはほとんど検出されていません。

ハトリコモナスの寄生により、幼鳥では症状がでることもありますが成鳥の80～90%は無症状で経過するそうです。これまで当院に持ち込まれたドバトでもトリコモナスの感染は見られましたが特に症状はありませんでした。

また、カルガモやコガモにはジアルジアやトリコモナスの寄生が認められることが多いです。これらのカモは保護された際に異臭のする下痢をしており、検便によっておびただしい数の原虫が認められました。

最近では、駆虫剤を単回経口投薬していますが、その数日後再びそのう検査や検便を行いました。駆虫剤が著効を示し原虫は検出されませんでした。またカモ類の下痢は治まりました。

2. ドバトとカモの災難

5月末、ドバトが飛べずにいたとのことで保護されました。持ち込まれたハトを見て自分の目を疑いました。そのハトの風切羽根は人為的に短く切られ尾羽もボロボロでした。これでは飛べるはずもなく誰が何のためにこのようなことをしたのだろうかと思いを感しました。確かにドバトは人家のベランダなどにも巣を作り迷惑なこともあるかもしれませんが、明らかに人よりも非力な動物にいたずらをする必要があったのでしょうか。ニュースで聞く矢ガモや隣人に打たれた猫など、動物虐待を身近に感じた出来事でした。

またつい最近にも子供に悪戯されていたというカモが持ち込まれました。そのカモの右翼の羽はまばらにしか生えておらず痛々しかったです。釣りをしてはいけないところで子供たちが釣りをしており、そこに残された釣り糸が脚に絡まっていたそうです。右脚はひどく腫れており歩くことも飛ぶこともままならない状態でした。このような現状を子供たちは知っているのでしょうか。悪いこと、してはいけないことがわからない子供。皆が皆そうではないが、考えていると悲しくなってきます。思いやりのある子供であってほしい。そのためにも野生動物のこのような現状を示していくのも重要なことのように思います。

3. アナグマ成長記

6月、小動物用の藁巢に入れられたアナグマが保護されてきました。哺乳瓶でミルクを飲ませなくてはならないような子供で、体重は745g。将来10kg近くまで成長するとは到底思えず、本当にただただ可愛い小動物のようでした。



保護された方も家での保育に挑戦してみるとのことで、その日は連れて帰られました。検便をしたところ、糞線虫の虫卵が認められたため、駆虫剤を処方して駆虫しました。

数日後、保護された方から電話があり、駆虫剤はちゃんと投与して哺乳もうまくできてはいるが、よくよく考えた結果、感染症の心配や今後の成長に対して不安があるとのことで、病院での今後の飼育をお願いしたいとのことでしたので、当院にて育てることになりました。



はじめは歯もほとんど生えておらず、動きも鈍く人間にされるがままで、ミルクを1日に何回もあげていましたが、あるときからギャギャッギャギャッと声を上げはじめました。

走るのも早くなり、動くものにひたすらついて歩くようになりました。まだ歯も小さく甘噛み程度で、自分で水を皿から飲めるようになりました。



1ヶ月もたつと体重は2kgに達し、歯も丈夫になり素手で噛まれると危険なほどになりました。食欲はますます旺盛で、餌がおいであると自分でケージまでの高さをジャンプして戻ります。頭でっかちだった体にも肉がつき、アナグマらしくなってきました。



現在保護されて約3ヶ月になりますが、ドライのドッグフードを何も文句を言わずにバリバリと食べております。野生では主食にミミズだそうです、とても手に入りませんので我慢してもらいます。体重は約3.5kgとなり、保護当初の約5倍にまで成長しました。人間の足にじゃれ付いたり、首根っこをつかまれるとおとなしくしていたり、まだまだ子供の面も残っていますが、不意をつかれたときの怒りようや、立派な牙に野生を見ることが出来ます。

そろそろ放獣の予定ですが、無事に生き延びてもらえることを祈ります。

WRVニュースレター 原稿募集！！

WRVニュースレターに投稿してみませんか？野生動物救護に関する症例報告、活動体験等の記事を募集します。

ご希望の方はメールにてお気軽にお問い合わせ下さい。皆様の投稿をお待ちしております！！

問い合わせメールアドレス kyugo@wrvj.org



ちよつと一息



たまには漢字で・・・
動物や野鳥の名前を漢字で書きました。
さて、いくつ読めますか??

狐 狸 鹿 穴熊 栗鼠 白鼻芯 貂 梟 小雀 斑鳩 緑啄木鳥 赤啄木鳥 河原鶉 山雀 懸巢 緋連雀 鶉 鶉

() () () () () () () () () () () () () () () () () () () ()

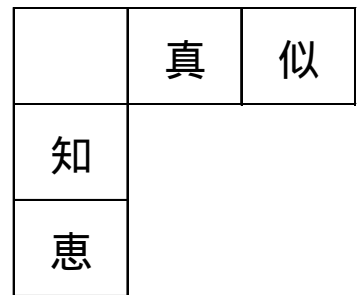
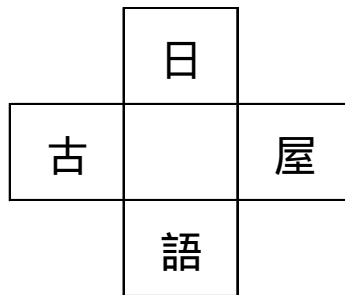
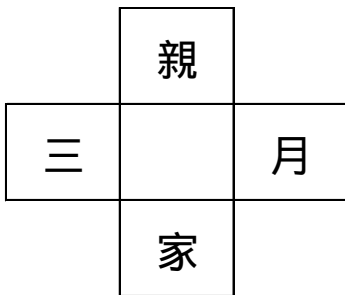
() () () () () () () () () () () () () () () () () () () ()

ヒントは4～5ページです。
問題の動物はすべて写っています!

お騒がせだったのは?

下の ~ で三文字熟語が交差している所が空白になっています。空白には共通の漢字が入ります。空白に記入した漢字を ~ の順で並べると、今年8月に都会を大騒がせさせたある動物がでできます。

解答例



お騒がせだった動物は? 答え _____

このページの解答は11ページにあります。



研 修 会 の ご 案 内



< 野生動物救護獣医師協会講習会 >

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会 東京都支部
共催 特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

会場：ホテル ローズガーデン新宿 ローズルーム

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-1-3 <http://www.hotel-rosegarden.jp/index.html>

日時：2010年10月9日 17:00~19:30(受付 16:30~16:55)

20:00~ 懇親会(事前申し込み者のみとなります。)

*申し込み方法 申込用紙はWRVホームページ(<http://www.wrvj.org>)よりダウンロードできます。
用紙に必要事項を記入の上、郵便振込にて参加費(懇親会参加の場合は合計額)をお振込ください。
参加費の振込確認をもって、参加申し込み受付とさせていただきます。

振込口座 00130-8-607137 口座名義 野生動物救護獣医師協会

*定員 50名

*参加費 東京都指定病院(スタッフ含む) 獣医学生 無料
WRV 正会員、ボランティア会員、東京都鳥獣保護員 2,000 円(当日入会でもOK)
会員外、その他 3,000 円
(懇親会参加の場合、別途2,000円がかかります。)

*申込期限 9月30日(木)(定員になり次第締め切ります)

*問い合わせ先 NPO法人 野生動物救護獣医師協会 事務局 大窪、箕輪
TEL 042-529-1279 FAX 042-526-2556

< 平成22年度「油等汚染事故対策水鳥救護研修」実施案内 >

目的：油等汚染事故発生時に、野生鳥獣保護の観点から迅速かつ的確に対応できるように、油等に汚染された水鳥の救護等に関する共通認識と技術を習得することを目的とする。

日程：第1回現場救護リーダー向け 平成22年10月19日(火) 20日(水)

第2回現場救護リーダー向け 平成22年12月9日(木) 10日(金)

第3回鳥獣保護行政担当者向け 平成23年2月9日(水) 10日(木)

現地研修 平成23年1月末(*現地研修では実習はありません。開催地については選定中。)

内容：以下のような事項に基づき、講義および実習形式で研修を行う。

油等汚染事故における行政の役割対応	水鳥の生態
油等汚染事故の基礎知識	油汚染鳥の保護法・治療法・洗浄法
日本の油等流出事故時の情報体制	その他

*鳥獣保護行政担当者向けと現場救護リーダー向けで内容が若干異なります。

会場：環境省 水鳥救護研修センター研修室

対象：国・地方自治体の鳥獣行政等職員、鳥獣保護センター等職員、獣医師、鳥獣保護員、動物園・水族館職員、水鳥救護に携わる関係者等

定員：1回あたり30名(先着順) *申し込みは各開催日の2週間前まで。定員になり次第締め切り。

参加費：無料(参加のための交通費、宿泊費等は自己負担)

申込用紙：水鳥救護研修センターホームページ(<http://www.hinocatv.ne.jp/~oiled-wb/>) またはWRVホームページ(<http://www.wrvj.org/>)よりダウンロードできます。

申込先：環境省 水鳥救護研修センター

〒191-0041 東京都日野市南平 2-35-2 TEL042-599-5050 FAX042-599-5051

研修運営：環境省 委託：特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会(WRV)

.....
< 書籍紹介 >



『野鳥をたすけるはじめの一步』

身近な野鳥の救護・保護のためのハンドブック』

傷ついた野鳥のヒナを見つけたらどうしたら良いのか？
身近な野鳥のヒナそれぞれの対応方法について分かりやすい
解説がされています。

価格 1,500円(別途送料1冊210円)

< 書籍紹介 >



『油汚染鳥救護テクニシャン教本』

内容

- 1.油流出事故とは 油の性質、回収、防除
- 2.油汚染により被害に遭う可能性のある水鳥類について
- 3.油汚染鳥の救護法
- 4.油汚染鳥の洗浄法
- 5.油汚染事故及び鳥獣保護関連の法規
- 6.油汚染鳥の病理検査と検査材料の取り扱い
- 7.海外における活動事例
- 8.油汚染事故対応に関係する機関

価格 3,200円(別途送料1冊210円)

書籍ご希望の方は WRV 事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先 WRV 事務局 TEL: 042-529-1279 FAX: 042-526-2556

.....

【 事務局より寄付のお礼 】

寄付ご協力者(敬称略) (平成22年6月25日から平成22年9月1日)

寄付金(一般) 2010.7.9 白倉 豊 5,000円

【人災による傷病野生鳥獣の救護活動募金】のお願い

WRV では、傷病野生鳥獣救護活動を迅速に実行するため、人員の派遣費および資材の調達の募金活動を行っています。ご協力をお願いいたします。(救護活動用基金)

郵便局加入者番号：00190-5-722368 加入者名義：WRV 人災募金

p9の解答：漢字の読み キネ タチ シ アガマ 収 ルビシ テ フウ コウ 伽 アガラ アガラ カネリ
マガラ カス ヒンジャ ヲ ヒドリ シ お騒がせ動物は？ 答え)日本猿

事務局日誌 2009.6.25~2010.9.24

=== 6月 ===

25：WRV ニュースレターNo.73 発行

26：コアジサシ営巣地観察会(NPO 法人川崎・平塚)に参加 [神奈川支部]

対応：皆川

- 27: ボランティア向け講習会「巣立ちビナを見つけよう!! ちょっと変わったバードウォッチング」新宿御苑にて
出席: 新妻、皆川、箕輪、梶山、筧
- 30: 看護専門学校一日体験学習 [神奈川支部] 対応: 皆川
=== 7月 ===
- 04: 相模川釣針・釣糸調査が市民調査全国大会で発表される [神奈川支部] 対応: 皆川
- 08: 川崎市立中学校5名体験学習(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応: 皆川
- 10: 「神奈川釣り針・釣り糸調査」11名参加(かながわ野生動物ネットワークと合同主催)[神奈川支部] 対応: 皆川
- 10~9/26: 国立科学博物館『大哺乳類展 海のなかまたち』海ゴミモンスター展示 [神奈川支部]
- 13~8/31: パネル展示『海ゴミ GO ME ゴミに悩まされる野生動物たち』(金沢区海の公園ふれあいセンター
かながわ野生動物ネットワークと合同主催) [神奈川支部]
- 16: 野生動物ボランティアセンター及びリバーリターの活動を富山県庁傷病鳥獣担当職員が視察 [神奈川支部] 対応: 皆川
- 20: 神奈川県立高校6名体験学習(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応: 皆川
- 21: 神奈川県野生動物リバーリター資格認定制度検討委員会 [神奈川支部] 対応: 皆川
- 29~30: 川崎市立中学校5名体験学習(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応: 皆川
=== 8月 ===
- 01: 科学学習支援雑誌「サイエンスウィンドウ」夏号 救護活動獣医師紹介 対応: 皆川、箕輪
- 03: 川崎市立中学校5名体験学習(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応: 皆川
- 04,11,18,25: 夏休み一日体験学習17名(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応: 皆川
読売新聞、赤旗新聞に紹介される
- 06: 野生動物ボランティアセンター活動がテレビで紹介される
番組名 日本テレビ系BS デジタル放送「よい国のニュース」 対応: 皆川
- 13: 環境省訪問 出席: 新妻、皆川、梶山
- 18: 動臨研 原稿提出 対応: 須田
- 20: 動臨研 原稿提出 対応: 大窪
- 28~29: 神奈川県野生動物リバーリター(2級)養成講座(講習会) [神奈川支部] 対応: 馬場、皆川
- 30: 故増井光子先生「感謝の集い」 出席: 馬場、皆川、箕輪
- 31: 海洋フォーラム「メキシコ湾海底油田流出事故現地視察報告」 参加: 皆川
=== 9月 ===
- 06: 水鳥救護研修センター運営連絡協議会 出席: 新妻、皆川、大窪
- 11~11/28: 神奈川県野生動物リバーリター(2級)養成講座(実践活動) [神奈川支部] 対応: 馬場、皆川
- 18: 横浜市主催「よこはまいきものカーニバル」出展(金沢動物園) 対応: 皆川、箕輪
- 19: 「金沢芸術祭」出展(金沢区海の公園 かながわ野生動物ネットワークと合同主催) [神奈川支部]
- 20: 夢見ヶ崎動物公園主催「秋の動物園まつり」出展 [神奈川支部] 対応: 皆川
- 23: 「川崎動物愛護フェア」出展(川崎市麻生区役所) [神奈川支部] 対応: 馬場、皆川

.....
野生動物救護獣医師協会 (ホムページ) <http://www.wrvj.org/> (E-mail) kyugo@wrvj.org

NEWS LETTER No. 74 2010.9.24 発行

発行: 特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

事務局: 〒190-0013 東京都立川市富士見町 1-23-16 富士ビル302

TEL: 042-529-1279 FAX: 042-526-2556

発行人: 新妻 勲夫 編集文責: 皆川 康雄

.....